

リーガル・マインドを培い、 法的センスを養います。

政権交代に伴う変革を受け、新たな法律の制定や改定への議論など、法律を取り巻く環境は近年にない程に変化しています。

また裁判員制度も開始され、法律はまさに私たちの生活に密着したところに存在し、

左右するものであることを実感する機会が増えてきています。

法学部では、基本となるリーガルマインド(法的なものの見方)を身につけるとともに、現代社会にマッチした広い視野をもち、

適切な判断ができる人材の育成をめざし、多彩な講義やゼミを用意し問題解決型の教育を展開しています。

L 法学部 法律学科

Law

皆さんの問題関心に合わせて履修科目を自由にセレクトできます。大きく3つの履修モデルがあります。

2 私法中心モデル

企業を含む市民社会を支えている私法を中心に学ぼうとする場合のモデルです。企業で活躍しようとする学生のほか、消費者の視点で取引秩序を理解しようと考えている学生に適しています。

3 公法・政治中心モデル

国と地方公共団体の行う政治や行政のあり方を中心に学ぼうとする場合のモデルです。公共政策のあり方を考え、また政治的素養、国際感覚を身につけるのに適しています。

1 法学一般モデル

法学部専門科目を学習する際の一般的なモデルです。憲法、民法、刑法、商法、民事・刑事の手法など基本的な法律科目の学習を中心に据え、各種法律関連資格試験を受験するのに適しています。



現 在、東京地方裁判所で事務官として働いています。この先、仕事を続けていくためにも法律の知識をより高めようと思い、上司の勧めもあって、二部法学部を志望しました。大学の良い所は自由であること。だからこそ、自分で考えて責任を持って履修しなければなりません。レポートの課題なども、ただ提出するだけでなく、「考える機会を与えられた」ことを逃さないように心掛けています。

中でもゼミは自分が主体性を持って参加できるので楽しいですね。私は安見ゼミで民事訴訟について勉強していますが、職場で民事訴訟の関連部署に所属しているので、理論と自分が実務で得た知識を照らし合わせながら、多面的に学ぶことができます。けっして職場だけでは得られない経験ですね。その他では「民事訴訟法」「刑事訴訟法」、あとは以前、履修した「国際法」も面白かったですね。

経済学部の「経済原論」や「発展途上国経済論」、「農業経済論」なども履修しています。法律の勉強だけならば、独学でもできるかもしれませんが、幅広く教養を高められることが専大二部の魅力であり、学部間相互乗り入れ制度は有効に活用しています。

将来の目標は、書記官になること。もっともっと勉強して、法律のプロフェッショナルとして、たくさんの人の力になりたいですね。

私の履修スタイル

理論と実務の両面から法律を深く学べる。
より多面的な見方を身に付け、
目標は書記官に

法学部3年次 金澤 翔太さん
●有職者入学試験により入学



	1	2	3	6	7
	9:00~10:30	10:45~12:15	13:05~14:35	18:15~19:45	19:55~21:25
MON	法学部専門科目の中からセレクト			前)親族法相続法Ⅰ 後)親族法相続法Ⅱ	経済原論ⅠA
TUE	他学部専門科目の中から自由にセレクト			特殊講義 法医学	前)刑事訴訟法Ⅰ 後)刑事訴訟法Ⅱ
WED				ゼミナール	前)民事訴訟法Ⅰ 後)民事訴訟法Ⅱ
THU				前)発展途上国経済論 後)農業経済論	金融論
FRI					
SAT					



ゼミナール一覧

[平成22年度開講]

- 教授 家永 登 ■ 家族をめぐる法律問題
- 教授 小林 俊明 ■ 会社法の基本問題
- 教授 小林 弘和 ■ 地方自治の可能性と限界を求めて
- 教授 坂本 武憲 ■ 民法(財産法)の基本問題
- 講師 森住 信人 ■ 刑法理論と判例の研究
- 非常勤講師 菅沼 一王 ■ 判例から学ぶ憲法
- 非常勤講師 安見ゆかり ■ 民事訴訟(判決手続)の基本問題についての理解を深める

●学部をオーバーラップする「相互乗り入れ制度」

法学部法律学科 専門科目

- 必修**
- 憲法Ⅰ・Ⅱ
 - 民法総則Ⅰ・Ⅱ
 - 刑法総論Ⅰ・Ⅱ

選択必修

- 行政法基礎Ⅰ・Ⅱ
- 商法総則
- 商取引法
- 会社法概論Ⅰ・Ⅱ
- 政治学原論Ⅰ・Ⅱ
- 物権法Ⅰ・Ⅱ
- 債権法Ⅰ・Ⅱ
- 刑法各論Ⅰ・Ⅱ
- 国際法Ⅰ・Ⅱ
- 法制史Ⅰ・Ⅱ
- 行政学Ⅰ・Ⅱ
- 国際政治学Ⅰ・Ⅱ
- 行政救済法Ⅰ・Ⅱ
- 犯罪学
- 刑事政策
- 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ
- 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ
- 民事救済法
- 民事執行保全法
- 倒産法Ⅰ・Ⅱ
- 租税法Ⅰ・Ⅱ
- 国際私法Ⅰ・Ⅱ

法学部専門科目の中からセレクト **52** 単位

教養科目・法学部専門科目および他学部専門科目の中から自由にセレクト **48** 単位

教養科目の中からセレクト **24** 単位

卒業単位 **124**

商学部マーケティング学科 専門科目

- 必修**
- 簿記論ⅠA・ⅠB
 - 商学基礎Ⅰ・Ⅱ
 - 現代ビジネスⅠ・Ⅱ
 - 経営数学Ⅰ・Ⅱ
 - 情報システムⅠ・Ⅱ
 - 財務会計論Ⅰ・Ⅱ
 - 簿記論ⅡA・ⅡB
 - 原価計算Ⅰ・Ⅱ
 - 経営管理論Ⅰ・Ⅱ
 - 商業史Ⅰ・Ⅱ
 - マーケティングⅠ・Ⅱ
 - 現代商品論Ⅰ・Ⅱ
 - 情報基礎Ⅰ・Ⅱ
 - 商業政策Ⅰ・Ⅱ
 - マーケティングリサーチⅠ・Ⅱ
 - 貿易実務
 - 貿易理論
 - 流通論Ⅰ・Ⅱ
 - マーケティングコミュニケーションⅠ・Ⅱ
 - ロジスティクスⅠ・Ⅱ
 - 金融論Ⅰ・Ⅱ
 - 証券論Ⅰ・Ⅱ

経済学部経済学科 専門科目

- 必修**
- 保険論Ⅰ・Ⅱ
 - 外国為替Ⅰ・Ⅱ
 - 財務管理論Ⅰ・Ⅱ
 - 中小企業Ⅰ・Ⅱ
 - 経営組織Ⅰ・Ⅱ
 - 人的資源Ⅰ・Ⅱ
 - ネットワークと産業
 - 交通と通信
 - 環境と経営
 - 環境監査
 - 経営情報システムⅠ・Ⅱ
 - 管理会計論Ⅰ・Ⅱ
 - 会計監査論Ⅰ・Ⅱ
 - 経営分析論Ⅰ・Ⅱ
 - 税務会計論Ⅰ・Ⅱ
 - 外国書講読Ⅰ・Ⅱ
 - 特殊講義
 - ゼミナール

- 経済数学基礎
- 経済思想
- 歴史と経済
- 資本主義の原理
- 資本主義発展の理論
- ミクロ経済学
- マクロ経済学
- 日本経済論1・2
- 経済統計学1・2
- 経済学1・2
- 経済学史1・2
- 日本経済史1・2
- 経済政策1・2
- 産業組織論1・2
- 農業経済論
- 地域経済論
- 都市経済論
- 流通経済論
- 流通産業論
- 産業技術論
- 労働経済論
- 環境経済論
- 財政学1・2
- 金融論1・2
- 国際経済論1・2
- 国際金融論
- 移行経済論
- 発展途上国経済論
- 西洋経済史1・2
- 社会政策1・2
- 社会保障論
- 社会運動論
- 企業経済学
- マスコミュニケーション論1・2
- 外国書講読1・2
- 特殊講義
- ゼミナール
- ゼミナール研究論文

自分自身で学びのスタイルを決めてください。